

授業改善書

科目名	数学(線形代数基礎)
担当者	寺澤信雄

授業の概要

線形代数学は、一言で言えばベクトル、行列の学問であり、数学分野では極めて実用的な学問である。本講義では、ベクトルと行列の概念から、それらの演算について解説する。他分野への応用を視野に入れながら、現実的な演算能力を養うことを目標としている。取り扱うテーマは、行列式の定義とその性質、応用、行列の概念とその演算および、正則行列、逆行列の概念と一次方程式などへの応用、固有値、固有ベクトルの概念と応用、行列の関数と関数の行列、数ベクトル空間などである。

授業の問題点

学習意欲が一部の熱心な学生を除いて一般に低く、苦慮している。線形代数学は論理的思考力を養うばかりか、基礎的な演算手法は現代のあらゆる場面に応用されている。従ってこれを習得する事は社会人にとって大きな力となるが、残念なことに学生の学習意欲が一般に低い。

授業改善の課題・方策

習得できているかどうかは別として、線形代数学を通して論理的思考力を養える様、また実際の計算手法を少しでも習得できる様、例題の解説に特に力をいれて講義した。成績評価を厳格にするのが望ましいと思うが、その場合多数の不合格者を出すことになるかと予想されるので、実行に躊躇をおぼえる。

その他